

社会環境工学科の理工ガールに聞く！

～技術系公務員試験に合格して～

社会環境工学科は、安全・安心な社会基盤（社会生活に不可欠な公共物）の整備や維持管理を通して社会貢献できる**建設技術者を育成する学科**です。本学科は、これまでに**多くの公務員試験合格者を輩出**しています。技術系の土木職公務員試験では、女子の採用も増加しており、**公務員を目指す女子学生にとっても最適の学科**です。それゆえ、社会環境工学科では、このことをしっかり PR して、一人でも多くの女子高生に受験していただきたいと願っています。ちなみに、**公務員は女子大生にとって人気のある職種**ですが、**一般事務職の公務員試験（行政職）は毎年 10～30 倍にも達する高倍率**で、合格を勝ち取るのは容易ではありません。一方、**公務員には技術系の職種がある**ことはあまり知られていません。技術系公務員の中でも、とりわけ土木職は「**倍率が 2～4 倍程度であり、行政職に比べてはるかに倍率が低い**」、「**建築職をはじめとする他の技術系職種と比べて採用人数が圧倒的に多い**」などの情報を知っている受験生は非常に少ないと思います。そこで、このような土木職公務員に関する情報を正しく受験生にお伝えしたいと考え、**土木職公務員試験に合格した女子学生の合格体験**を掲載することに致しました。なお、ここに登場する 3 人の女子学生はいずれも平成 26 年 3 月に卒業した学生で、土木職公務員試験で内定を勝ち取った後、本学科の教員が率直な感想を 3 人にインタビュー形式で取材したものです。

○取材＝米田昌弘（理工学部社会環境工学科 教授）



鳴尾綾華さん
(茨木市役所内定)
(私立百合学院高等学校卒)

古川沙恵子さん
(川西市役所内定)
(私立大阪樟蔭高等学校卒)

藤澤綾子さん
(京都市役所内定)
(大阪府立豊中高等学校卒)

—理科の履修科目

米田：藤澤さんは京都市役所，鳴尾さんは茨木市役所，そして古川さんは川西市役所に内定が決まったんですね。おめでとう！ 1年間，本当に良く頑張りました。

藤澤・鳴尾・古川：ありがとうございます。

藤澤：でも，まさか京都市役所に合格できるなんて思いもしませんでした。だって，大学受験では志望していた大学に合格できず，どちらかと言うとあまり気が進まないまま，近畿大学の社会環境工学科に入学したものですから……。

鳴尾：藤澤さんは，進学高校を卒業しているし，物理と数学を履修しているんで，私はきっと公務員試験に合格すると思っていましたよ。それに比べて，私なんか高校で数学Ⅲ+C までは履修したけど，物理は全く履修しなかったのて，すごく不安でした。

米田：鳴尾さんは，理科の何を履修したの？

鳴尾：私は化学と生物です。

米田：それじゃ，古川さんは？

古川：私は化学と地学です。

米田：物理は？

古川：物理は履修していません。

米田：それじゃ，どうして社会環境工学科に入学したの？

古川：私は指定校入試だったんですが，近畿大学で希望していた学科の推薦枠がもらえなかったのて，“環境”がついている学科を選んだらそれがたまたま社会環境工学科だったんです。

米田：社会環境工学科は土木系の学科だと知らなかったの？

古川：知りませんでした。願書を出してから土木系の学科だと気づいたんですが，指定校入試なので辞退も出来ないし，その時は本当に目の前が真っ暗になってふさぎ込んでしまいました。

—公務員試験の倍率

米田：じゃ，いつから公務員を目指そうと思ったの？

鳴尾：私は一年生の時に，先生から土木職公務員のお話を聞いてからです。

藤澤：私が真剣に土木職公務員を目指そうと思ったのは3年生になってからです。土木技術者で道路系の会社に勤務する父にそのことを伝えたら，父は「**公務員は男女平等**だし，良いんじゃないか！ 応援するよ！」とってくれました。

米田：お母さんは？

藤澤：母は，公務員試験はとっても難しいし，「無理，無理」って言っていました。

米田：確かに，**一般事務職の公務員試験（行政）は非常に難しい**ですよ。

鳴尾：茨木市役所の事務系は，30人の公募枠に821人が応募していたと思います。

藤澤：京都市役所の一般事務職（行政）は，約110人の採用枠に1288人が申し込んでいて，確か，そのうちの500人が女子だったのでは……。

米田：**事務職の倍率は少なくとも10倍，高いところで数十倍にもなる**し，しかも国公立の有名大学の受験者も多いので，合格のハードルは非常に高いです。それに比べて，**土木職の倍率は2**

～4倍程度ですし、1年間しっかり勉強すれば、合格しますよ。実際、学科で公務員を志望した学生のうち、8割～9割の学生は最終的に公務員試験に合格していますから。

古川：技術系の公務員には、建築職や電気職・機械職・環境職なんかもありますよね。

米田：その通りです。ただし、今年の京都市役所だったら、土木職は約30名の採用でしたが、建築職と環境職はそれぞれ約5名で、その他の職種は若干名です。土木職に比べたら採用人数も少なく、合格の難易度はずっと上がります。

—建築と土木の違い

米田：ところで、皆さんは建築と土木の違いを知っていますよね。建築士は、建築法に基づき、建築物の設計（デザイン・構造設計・設備設計）や工事の監理を行います。これに対して、土木は、英語でcivil engineering（市民のための工学）と言い、civil engineer（直訳すれば、市民のための技術者）は電気・ガス・水道などのライフラインだけでなく、道路・鉄道・橋・トンネル・ダムなどありとあらゆる公共施設の設計や工事の監理を行います。チームで仕事を進める上で、人と人のつながり（コミュニケーション）や環境に関する知識も必要不可欠で、幅広い知識を学ばないといけません。このように、土木は市民のための“まちづくり”，国民のための“国づくり”を担うという仕事の性格上、技術系公務員の採用は土木職が圧倒的に多いのです。

米田：ちなみに、都道府県や政令指定都市の採用試験では専門問題の全40問中、数学と物理の問題があわせて10問くらい出題されますが、それ以外の市町村では数学や物理は1～2問しか出題されません。だから、鳴尾さんと古川さんも高校で物理を履修していませんでしたが、一生懸命に頑張って専門の力学系科目を履修していたので、公務員試験にきっと合格すると思っていましたよ。

古川：本当ですか？

米田：もちろん、物理を学んでいた方が専門の力学系科目を理解する上で有利です。ただし、大学の1年次に物理の授業を開講していますので、高校で物理を履修していない学生でも頑張れば、土木系学科の必修科目である「構造力学」「水理学」「土質力学」は理解できるんです。

古川：確かに、私は高校で物理を履修していませんでしたが、専門の得意科目は「構造力学」でした！

—公務員試験の合格者数

古川：近畿大学の社会環境工学科を卒業し、土木職公務員として働く女性技術者は沢山いるんですか？

米田：30人ぐらいいると思います。ちなみに、結婚して“お母さん”になった人が何人もいますが、みんな元気に働いています。産休や育休制度もしっかりしているし、労働条件などを考えると女性にとって公務員が一番恵まれた職場だと思います。

古川：私たちは先生の“土木職公務員試験”シリーズで勉強したんですが、執筆のきっかけは何だったんですか？

米田：実は、ずっと前から、それなりの人数の学生が公務員を志望していたんですが、なかなか公務員試験に合格しなかったんです。国家公務員のⅡ種試験（現在の一般職試験）を受験しても合格するのは数人程度だったんです。そこでよくよく調べてみると、土木職公務員試験用の良い問題集がなかったことに加え、学生自身も勉強の仕方を知らないことが分かったんです。そこで、近畿大学の学生が理解できるレベルで、しかも「です・ます調」のわかりやすい問題集を作成しようと思い立った訳です。

藤澤・鳴尾・古川：ふーん、そうだったんですか？！

米田：“土木職公務員試験”シリーズを出版してから、学科の合格者も大幅に増加し、**今では国家公務員一般職試験の大阪地区合格者のうち、25～30%が社会環境工学科の4年生が占めるようになりました。**

米田：最近では、国家公務員よりも地方公務員を希望する学生が多いのですが、**国家公務員と地方公務員の内定者を合わせた合格者総数は、全国でもトップクラスだと思います。**

—「どこに就職したか？」が大事

米田：これからは「どこの大学を卒業したか？」より「どこに就職したか？」が大事になります。実際、有名大学を卒業しても就職が決まらない学生がいっぱいいます。保護者の正直な願いは、せっかく高い授業料を支払って大学に通わせたのだから、親が安心するようなところに就職してほしいというもので、それは当然です。

藤澤：私もそう思います。私が京都市役所に合格したのを知って、両親は本当に喜んでくれ、二人で何回も祝杯をあげたそうです。

鳴尾：私も茨木市役所に合格したのを報告したら、今まで応援してくれた両親だけでなく、祖父母までもが大喜びしてくれました。そんな喜ぶ姿を見たときに、大きな親孝行ができたと思いました。

古川：私の父は単身赴任しているのですが、川西市役所に合格したことを報告したら、本当に大喜びで、「冬休みに母親と一緒に行くように」と海外旅行をプレゼントしてくれたんです。私が一人っ子ということもあって、よほど嬉しかったんでしょうね！

—質保証と3つのポリシー

米田：最近では、どこの大学でも**質保証**が問われています。質保証を簡単に言えば、“それぞれの大学でしっかり教育して社会で受け入れられるような質の高い学生を実社会に送り出して下さい”という意味なんです。これを達成するため、近畿大学でも、“大学の3つのポリシー”、“理工学部の3つのポリシー”だけでなく、それぞれの学科ごとに“3つのポリシー”を公表しています。社会環境工学科では、**アドミッションポリシー**を単なる“入学者受け入れ方針”ではなく“人材育成目標”としてとらえ、また、目標とした人材育成に必要な**カリキュラムポリシー**（カリキュラムに関する方針）や卒業認定・学位授与に関する方針である**ディプロマポリシー**も、わかりやすく記述しています。読んでおいて下さい。

藤澤・鳴尾・古川：はい。

米田：大学がしっかりした質保証教育をするためには、当然ですが、学生自身も「**入学前から将来の目標を定め、入学直後から目的意識を持って学習に取り組む**」ことが大切です。高校生の弟や妹あるいは親戚がいたら、このことをしっかり伝えてあげてください。

—今の土木は女子が活躍できる職種

米田：最後に、皆さんにお願いがあります。それは、「**土木系の社会環境工学科に入学して一生懸命に勉強すれば、女子でも公務員試験に合格し、エンジニアとして社会貢献できる**」ことを、それぞれの出身高校の進路指導や担任の先生に伝えてほしいのです。これからの日本の社会は、**女子の力が必要なんです**。政府も女性の理工系進学を応援していますし、国を挙げて理工系女子の活躍を支援しています。少し前までと違い、今の土木は女子が活躍できる職種である*ということを高校の先生方には是非とも知っていただきたいのです。そのためにも、“**女子だから理科は化学と生物**”と決めつけるのではなく、ほんの少し物理を学習するだけで、**将来の可能性がより大きく広がる**ことを伝えてほしいのです。

藤澤・鳴尾・古川：わかりました。

鳴尾：確かに、公務員を目指すんだったら、間違いなく土木系の社会環境工学科は最適だと思います。それを知っていたら、女子の志願者がもっと増えるかも知れませんね。

米田：2020年に東京オリンピックが開催されることが決まりました。一方で、今まで経験したことがないような豪雨や自然災害も多発していますし、橋や上下水道など公共施設の老朽化問題（建設後50年を過ぎた公共施設の長寿命化対策）などもあって、土木のニーズは非常に高まっています。実際、今年なんかでも民間企業を希望した学生には早々に内々定が出て、**土木系の社会環境工学科の学生は引く手あまたの状態**です。こんなことも上手く高校の先生に伝えることが出来たら良いなあと思っているんです。

藤澤・鳴尾・古川：わかりました。

—胸を張って大学を卒業する

藤澤：入学当初は、悩みや不安もありましたが、社会環境工学科に入学して公務員試験にも合格し、本当に良かったです。これで、胸を張って近畿大学を卒業することができます。ありがとうございました。

鳴尾・古川：ありがとうございました。

米田：社会に出ても、先輩に負けないように、しっかり頑張ってください。最後にもう一度言いますが、本当によく頑張りましたね。おめでとう！

*この取材を行った翌年に、清文社から「**土木女子!**」という写真集が出版され、大きな話題を呼んでいます。

卒業生の声

OG Voice 公務員を目指すなら社会環境工学科で！

西宮市役所

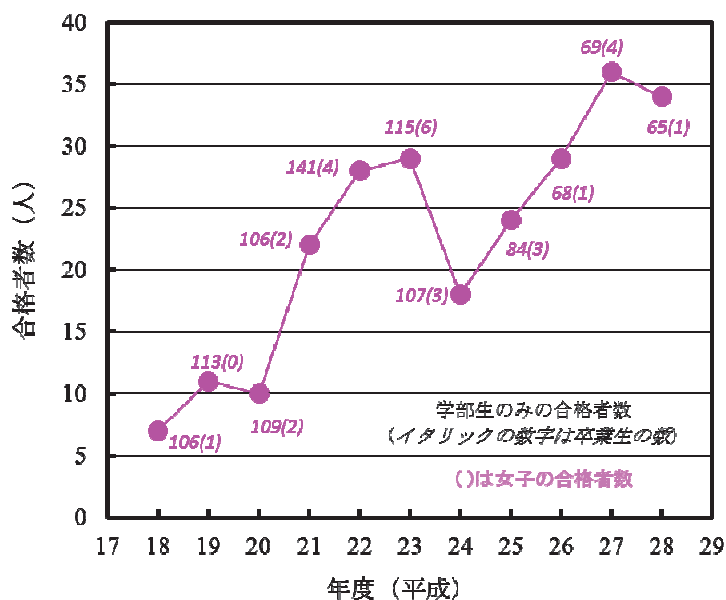
石田 悠加（2009年3月卒業）



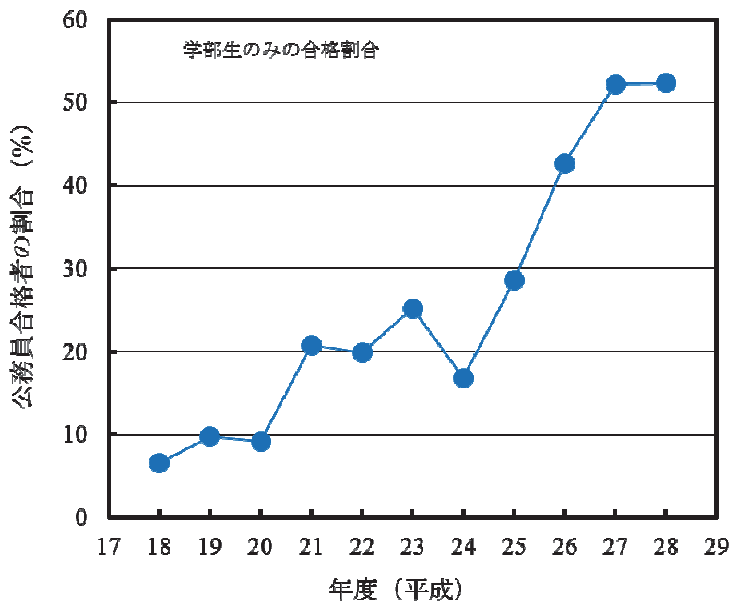
土木局道路部道路事業推進グループに所属しています。主な業務は、国土交通省や兵庫県が事業主体になっている事業における市側の窓口担当で、現在は国道 176 号名塩道路や阪神電鉄の高架事業などの事業推進の要望活動を行ったり、事業に関連する工事の担当を行ったりしています。調整から工事まで幅広い業務を担当していますので、これからも失敗を恐れず様々な経験を積んで、一步ずつレベルアップしていきたいと思っています。

大学では土木について学びました。土木と聞いてもイメージが湧かず、特に女性に縁のないような印象を受けますが、私たちの生活に深く関係していますので、勉強していると大変に興味が出てくると思います。技術系公務員の採用人数が最も多いのは土木職で、社会環境工学科では今までに沢山の女子学生が公務員試験に合格し、多くの自治体で女性技術者として生き生きと働いています。公務員を目指すなら、私は絶対に土木系学科に入学して“土木”で受験することをお勧めします。

社会環境工学科は公務員志望者を応援しています！



社会環境工学科の公務員試験合格者数



社会環境工学科の
公務員試験合格割合 (合格者数/卒業生)

公務員試験合格者の出身高校

H28 年度卒業生 65 名

公務員合格者 34 名（割合：52.3%）

勤務先	性別	出身高校
国土交通省	男	大阪府立寝屋川高等学校
国土交通省	男	私立近畿大学附属高等学校
国土交通省	男	大阪府立牧方高等学校
大阪府庁	男	山口県立下松高等学校
大阪府庁	男	大阪府立寝屋川高等学校
大阪府庁	男	大阪府立堺東高等学校
京都府庁	男	私立近畿大学附属豊岡高等学校
奈良県庁	男	奈良県立橿原高等学校
奈良県庁	男	京都府立西城陽高等学校
大阪府市役所	男	大阪府立市岡高等学校
京都市役所	男	大阪府立千里青雲高等学校
京都市役所	男	神戸市立六甲アイランド高等学校
堺市役所	女	大阪府立富田林高等学校
堺市役所	男	大阪府立牧野高等学校
堺市役所	男	大阪府立金岡高等学校
堺市役所	男	私立初芝立命館高等学校
岐阜市役所	男	岐阜県立加納高等学校
生駒市役所	男	大阪府立摂津高等学校
茨木市役所	男	大阪府立槻の木高等学校
橿原市役所	男	奈良県立橿原高等学校
吹田市役所	男	大阪府立山田高等学校
吹田市役所	男	大阪府立池田高等学校
摂津市役所	男	大阪府立槻の木高等学校
宝塚市役所	男	大阪府立山田高等学校
豊中市役所	男	大阪府立刀根山高等学校
西宮市役所	男	兵庫県立鳴尾高等学校
西宮市役所	男	西宮市立西宮東高等学校
東大阪市役所	男	私立智辯学園高等学校
東大阪市役所	男	兵庫県立東播磨高等学校
枚方市役所	男	大阪府立香里丘高等学校
呉市役所	男	広島県立呉三津田高等学校
豊岡市役所	男	私立近畿大学附属豊岡高等学校
大阪広域水道企業団	男	私立大阪学院大学高等学校
大阪府警	男	私立浪速高等学校

H28 年度修了生 0 名

公務員合格者 0 名

H27 年度卒業生 69 名

公務員合格者 36 名 (割合 : 52.2%)

勤務先	性別	出身高校
国土交通省	男	私立奈良育英高等学校
国土交通省	女	私立京都聖母学院高等学校
国土交通省	男	私立福岡大学附属大濠高等学校
防衛省	男	徳島県立脇町高等学校
大阪府庁	女	私立大阪学院大学高等学校
大阪府庁	男	大阪府立富田林高等学校
大阪府庁	男	私立浪速高等学校
京都府庁	男	京都府立綾部高等学校
奈良県庁	男	大阪府立北千里高等学校
奈良県庁	男	奈良県立奈良北高等学校
兵庫県庁	男	大阪府立八尾高等学校
香川県庁	男	香川県立善通寺第一高等学校
大阪市役所	男	大阪府立金剛高等学校
京都市役所	男	大阪府刀根山高等学校
京都市役所	男	奈良県立平城高等学校
堺市役所	男	大阪府立鳳高等学校
堺市役所	男	奈良市立一条高等学校
堺市役所	男	大阪府立和泉高等学校
堺市役所	男	大阪府立富田林高等学校
尼崎市役所	男	大阪府立久米田高等学校
茨木市役所	女	私立関西大倉高等学校
貝塚市井役所	男	大阪府立北かわち阜が丘高等学校
川西市役所	女	大阪府立高石高等学校
吹田市役所	男	西宮市立西宮東高等学校
大東市役所	男	私立近畿大学附属高等学校
宝塚市役所	男	大阪市立高等学校
宝塚市役所	男	兵庫県立三田西陵高等学校
長岡京市役所	男	私立龍谷大学附属平安高等学校
名張市役所	男	三重県立名張西高等学校
豊中市役所	男	大阪府立池田高等学校
西宮市役所	男	石川県立金沢西高等学校
羽曳野市役所	男	大阪府立富田林高等学校
東大阪市役所	男	大阪府立東高等学校
東大阪市役所	男	私立上宮高等学校
松山市役所	男	愛媛県立野村高等学校
大阪広域水道事業団	男	私立金光八尾高等学校

H27 年度修了生 3 名

公務員合格者 0 名

H26 年度卒業生 68 名

公務員合格者 30 名（割合：44.1%）

勤務先	性別	出身高校
国土交通省	男	滋賀県立東大津高等学校
国土交通省	男	奈良県立奈良北高等学校
国土交通省	男	私立大阪桐蔭高等学校
大阪府庁	男	私立高槻高等学校
大阪府庁	男	私立金光大阪高等学校
大阪府庁	男	大阪府立千里青雲高等学校
大阪府庁	男	大阪府立金剛高等学校
京都府庁	男	福井県立若狭高等学校
京都府庁	男	兵庫県立淡路三原高等学校
奈良県庁	男	奈良県立平城高等学校
京都市役所	男	私立東山高等学校
京都市役所	男	私立常翔啓光学園高等学校
堺市役所	男	私立清教学園高等学校
堺市役所	男	大阪府立市岡高等学校
尼崎市役所	男	大阪府立富田林高等学校
茨木市役所	男	大阪府立寝屋川高等学校
加古川市役所	男	兵庫県立加古川北高等学校
川西市役所	男	静岡県立浜松南高等学校
吹田市役所	男	私立大阪学芸高等学校
高槻市役所	男	大阪府立久米田高等学校
宝塚市役所	男	私立金光八尾高等学校
土浦市役所	男	私立加藤学園暁秀高等学校
天理市役所	男	奈良市立一条高等学校
豊中市役所	女	大阪府立桜塚高等学校
豊中市役所	男	大阪府立槻の木高等学校
西宮市役所	男	京都府立北嵯峨高等学校
東大阪市役所	男	大阪府立阪南高等学校
東大阪市役所	男	私立近畿大学附属福山高等学校
八尾市役所	男	私立近畿大学附属高等学校
大阪市教育委員会	男	大阪府立柴島高等学校

H26 年度修了生 5 名

公務員合格者 1 名（割合：20.0%）

勤務先	性別	出身高校
尼崎市役所	男	私立浪速高等学校

H25 年度卒業生 84 名

公務員合格者 25 名 (割合 : 29.8%)

勤務先	性別	出身高校
国土交通省	男	大阪市立都島工業高等学校
国土交通省	男	大阪府立金岡高等学校
国土交通省	男	大阪府立金剛高等学校
奈良県庁	男	私立近畿大学附属高等学校
三重県庁	男	三重県立名張西高等学校
京都市役所	女	大阪府立豊中高等学校
京都市役所	男	兵庫県立尼崎小田高等学校
京都市役所	男	京都府立西乙訓高等学校
堺市役所	男	大阪府立富田林高等学校
生駒市役所	男	私立奈良大学附属高等学校
伊丹市役所	男	私立近畿大学附属高等学校
茨木市役所	女	私立百合学院高等学校
茨木市役所	男	大阪府立摂津高等学校
宇治市役所	男	京都府立菟道高等学校
川西市役所	女	私立大阪樟蔭高等学校
城陽市役所	男	京都府立城陽高等学校
高槻市役所	男	兵庫県立西宮今津高等学校
豊中市役所	男	尼崎市立尼崎高等学校
東大阪市役所	男	私立北陸高等学校
防府市役所	男	大分県立竹田高等学校
松原市役所	男	私立浪速高等学校
守口市役所	男	兵庫県立武庫荘総合高等学校
八尾市役所	男	奈良県立高円高等学校
八尾市役所	男	私立須磨学園高等学校
広島県警	男	広島県立広島国泰寺高等学校

H25 年度修了生 11 名

公務員合格者 5 名 (割合 : 45.5%)

勤務先	性別	出身高校
国土交通省	男	兵庫県立高砂南高等学校
堺市役所	男	大阪府立阪南高等学校
尼崎市役所	男	大阪府立刀根山高等学校
鳴門市役所	男	徳島県立鳴門高等学校
篠山市役所	男	私立報徳学園高等学校

H24 年度卒業生 107 名

公務員合格者 21 名（割合：19.6%）

勤務先	性別	出身高校
大阪府庁	女	私立近畿大学附属高等学校
京都府庁	男	私立近畿大学附属高等学校
京都市役所	男	大阪府立香里丘高等学校
堺市役所	男	大阪府立和泉高等学校
川西市役所	男	私立近畿大学附属高等学校
川西市役所	男	大阪府立富田林高等学校
岸和田市役所	男	大阪府立高石高等学校
高槻市役所	男	兵庫県立三田祥雲館高等学校
高槻市役所	男	大阪府立山田高等学校
豊中市役所	男	私立三田学園高等学校
西宮市役所	男	私立報徳学園高等学校
橋本市役所	男	和歌山県立橋本高等学校
東大阪市役所	男	大阪府立三国ヶ丘高等学校
宮津市役所	男	京都府立北嵯峨高等学校
八尾市役所	女	大阪府立八尾高等学校
八幡市役所	女	大阪府立寝屋川高等学校
大和郡山市役所	男	私立星稜高等学校
大淀町役場	男	奈良県立西の京高等学校
京都府警	男	京都府立向陽高等学校
警視庁	男	私立早稲田摂陵高等学校
守口市門真市消防組合	男	私立近畿大学附属高等学校

H24 年度修了生 14 名

公務員合格者 5 名（割合：35.7%）

勤務先	性別	出身高校
大阪府庁	男	大阪府立久米田高等学校
高知県庁	男	高知県立高知西高等学校
堺市役所	男	私立上宮太子高等学校
草津市役所	男	私立東山高等学校
箕面市役所	女	私立親和女子高等学校

H23 年度卒業生 115 名

公務員合格者 30 名(割合 : 26.1%)

勤務先	性別	出身高校
国土交通省近畿地方整備局	男	大阪府立狭山高等学校
国土交通省近畿地方整備局	女	大阪府立山田高等学校
三重県庁	男	三重県立名張桔梗丘
神戸市役所	男	東京都立町田高等学校
堺市役所	女	大阪府立三国丘高等学校
堺市役所	男	大阪府立鳳高等学校
和歌山市役所	男	私立浪速高等学校
生駒市役所	男	奈良県立高円高等学校
伊丹市役所	男	私立四天王寺羽曳丘高等学校
茨木市役所	男	私立関西大倉高等学校
茨木市役所	男	愛知県立津島高等学校
大津市役所	男	私立大阪電気通信大学高等学校
柏原市役所	女	私立近畿大学附属高等学校
柏原市役所	男	大阪府立金剛高等学校
黒部市役所	男	富山県立入善高等学校
摂津市役所	男	私立早稲田摂陵高等学校
豊中市役所	女	大阪府立清水谷高等学校
豊中市役所	男	大阪府立東豊中高等学校
新居浜市役所	男	愛媛県立新居浜西高等学校
東大阪市役所	男	大阪府立箕面高等学校
東大阪市役所	男	大阪府立八尾高等学校
東大阪市役所	男	奈良県立青翔高等学校
東大阪市役所	男	私立大阪産業大学附属高等学校
松原市役所	男	大阪府立堺東高等学校
松原市役所	男	大阪府立藤井寺高等学校
守口市役所	男	大阪市立高等学校
八尾市役所	女	兵庫県立三田西陵高等学校
八尾市役所	女	私立東海大学付属仰星高等学校
大阪広域水道企業団	男	大阪電気通信大学高等学校
東京消防庁	男	京都府立洛東高等学校

H23 年度修了生 8 名

公務員合格者 4 名(割合 : 50.0%)

勤務先	性別	出身高校
明石市役所	女	兵庫県立北須磨高等学校
加古川市役所	男	兵庫県立加古川西高等学校
草津市役所	男	滋賀県立草津東高等学校
東大阪市役所	男	愛媛県立大洲高等学校

H22 年度卒業生 141 名

公務員合格者 32 名 (割合 : 22.7%)

勤務先	性別	出身高校
国土交通省近畿地方整備局	男	兵庫県立伊丹北高等学校
奈良県庁	男	私立京都橘高等学校
奈良県庁	男	私立京都橘高等学校
奈良県庁	女	私立近畿大学付属高等学校
京都市役所	男	京都府立菟道高等学校
堺市役所	男	大阪府立泉北高等学校
名古屋市役所	男	私立大阪学芸高等学校
芦屋市役所	男	私立近畿大学付属高等学校
芦屋市役所	男	大阪府立高槻北高等学校
芦屋市役所	女	大阪府立泉陽高等学校
尼崎市役所	男	滋賀県立膳所高等学校
池田市役所	男	大阪府立渋谷高等学校
茨木市役所	男	東海大学付属仰星高等学校
宇治市役所	男	大阪府立高槻北高等学校
近江八幡市役所	男	滋賀県立水口東高等学校
橿原市役所	女	奈良県立香芝高等学校
柏原市役所	男	大阪府立市岡高等学校
河内長野市役所	男	私立清教学園高等学校
桜井市役所	男	大阪府立高槻北高等学校
東大阪市役所	男	兵庫県立加古川西高等学校
東大阪市役所	女	私立京都橘高等学校
東大阪市役所	男	西宮市立西宮高等学校
東大阪市役所	男	滋賀県立八日市高等学校
福山市役所	男	広島県立庄原格致高等学校
舞鶴市役所	男	京都府立東舞鶴高等学校
高岡市役所	男	富山県立高岡南高等学校
富山市役所	男	富山県立福岡高等学校
八尾市役所	男	福井県立三国高等学校
愛媛県警	男	徳島県立城東高等学校
三重県警	男	三重県立宇治山田高等学校
大阪府警	男	私立常翔学園高等学校
京都市消防局	男	大阪府立長尾高等学校

H22 年度修了生 8 名

公務員合格者 1 名 (割合 : 12.5%)

勤務先	性別	出身高校
八尾市役所	男	国立大阪教育大学附属天王寺高等学校